



(題字 小黒千足 学長)


第340号

(平成5年1月号)



▲ 平成5年元日の構内と立山連峰  
(元日は初日が眩しく、快晴の青空に雪の立山の峰々が映える素晴らしい好天に恵まれた。  
富山地方气象台発表日の出時刻：午前7時04分)

目 次

<p><b>年 頭 所 感</b> ..... 3          (学長 小黒 千足)</p> <p><b>学 内 諸 報</b></p> <p>◆ 外国人留学生との懇談会が盛り上がる!! ..... 4</p> <p><b>学 事</b></p> <p>◆ 平成5年度日本学術振興会各種事業の内定者決定</p> <p>○ 外国人招へい研究者 ..... 5</p> <p>○ 日米科学協力事業共同研究 ..... 5</p> <p>◆ 平成5年度人文学部推薦入学選抜状況 ..... 5</p> <p>◆ 平成5年度入学者選抜追加学生募集要項(抜粋) ..... 6</p> <p>◆ 平成5年度一般選抜入学者数 ..... 11</p> <p>◆ 平成5年度私費外国人留学生入学志願者数 ..... 12</p> <p><b>寄 稿 海外レポート</b></p> <p>①「モスクワ雑感」 ..... 13          人文学部教授 矢澤 英一</p> <p>②「ブルーミントンの思い出」 ..... 15          理学部教授 鈴木 正昭</p>	<p><b>諸 会 議</b> ..... 17</p> <p><b>学 内 規 則</b></p> <p>◆ 富山大学学則の一部改正 ..... 18</p> <p>◆ 富山大学自己点検評価規則の一部改正 ..... 18</p> <p>◆ 富山大学新教育課程実施委員会内規の一部改正 ..... 19</p> <p><b>海 外 渡 航 者</b> ..... 21</p> <p><b>職 員 消 息</b> ..... 21</p> <p><b>主 要 行 事</b> ..... 22</p> 
---	--



## 年頭のあいさつ

富山大学長 小黒千足

新年明けましておめでとうございます。

多忙と不安、そして多くの困難に直面した平成4年  
が終わり、新しい年を迎えることができました。周知  
のように大学設置基準の改正、即ち、大綱化への対応  
と自己点検・自己評価の実施のため、本学では、50年  
に一度あるかないかという改革を計画いたしました。  
上に述べた困難は、この改革計画に伴うものでした。

しかしながら、御案内のように本学は、難関の第一  
のハードルを越えることができました。他の多くの国  
立大学が対応に苦慮し、本年もあるいは明年もこのハー  
ドルを越えるために不安と混迷を続けざるを得ないこ  
とを考えると、富山大学では、全教職員の御理解と  
御努力が報いられたことをお慶びいたします。

さて、本年は決定された事柄を、円滑に実施し、実  
効ある方向を目指すこととなります。その達成には、  
多くの時間と労力を費やし、また知恵を絞り出す必要  
があります。この改革が軌道に乗るまでには、更に新  
たな困難に直面するとは思いますが、より良き富山大  
学を建設するため、希望を持って進みたいと存じます。  
この意味におきまして、昨年にも増しての御協力を切  
にお願いするものであります。

また、大学の使命が、単に研究と学生に対する教育

にとどまらず、広く地域社会人を対象にすることが最  
近求められてまいりました。これは公開講座ばかりで  
はなく、いわゆるリカレント教育への参加であります。  
本学でも、昨年より富山県リカレント教育推進協議会  
及び文部省生涯学習局からの協力依頼を受け、同富山  
大学運営委員会を設置、さらに、関係各位の協力を得  
て「ビジネスマンのための情報科学」を開講いたしま  
した。

リカレント教育の実施は、現代社会が大学に望む大  
きな柱の一つであり、我々はそれに応えなければなり  
ません。さらに、目前に迫っている受験人口の減少に  
対応するためにも、実績を作っておく必要があります。  
公開講座の拡大も含めて、本年以降は、社会人に対す  
る教育にも大きなエネルギーを注ぐことになりそうで  
す。

一山越えてまた一山と、解決すべき難題は尽きま  
せんが、本学はそれらを乗り切って、発展の途を進む  
ものと確信しております。

以上のような状況ではありますが、本年が、富山大  
学にも、教職員各位にも、実り多き年でありますこと  
を祈念して、年頭の挨拶といたします。

## 『越中おわら』と『ビンゴゲーム』で一体となる!!

## 外国人留学生との懇談会で交流推進



▲ 本場の「越中おわら」を披露する本学職員

毎年恒例になっている「外国人留学生等と本学教職員との懇談会」が、去る12月11日(金)市内のパレ・ブラン高志会館で実施されました。

今年度は、中国、マレーシアなど10カ国の外国人留学生及び外国人研究者併せて110名と、小黒学長はじめ、各部局長、国際交流委員会留学生部会委員、指導教官、留学生担当職員など教職員50名が出席し、計160名により和やかな交流懇談会が行われました。



▲ 民族衣裳で登場したマレーシア留学生

懇談会は、小黒学長のあいさつに始まり、学生部職員が中心となって富山県の民謡「風の盆-越中おわら節-」を歌と踊りで披露し、出席した外国人留学生らから、盛んな拍手を浴びました。

続いて、出席者全員でのビンゴゲームでは、大きな歓声を誘い、それぞれが景品を片手に全員が一体となって、懇談ムードを盛り上げました。

最後に、増田学生部長の閉会のあいさつで、和気あいあいのうちに懇談会が締めくくられましたが、今回の懇談会の実施で、留学生と教職員が更に打ち解け、より一層の親睦と相互理解を深めることができ、留学生交流推進につながる有意義な懇談会となりました。



▲ 「ビンゴゲーム」で獲得した賞品を掲げ、ポーズをとる台湾留学生

学

事

## 平成5年度日本学術振興会各種事業内定者の決定

## ○ 外国人招へい研究者

部 局	職	氏 名	招へい研究者所属・職・氏名	研究課題名	招へい期間
理学部	教授	菅井 道三	テネシー大学・植物学教室・教授 ・レスリー ジョージ ヒコック	突然変異体を用いたシダ	5. 8. 5
				配偶体の形態形成の研究	5. 11. 2
工学部	教授	坂井 純一	“Solar Physics”編集長・Utrecht大学名 誉教授・Cornelis de Jager	太陽フレアにおける高エ	5. 4. 1
				ネルギー粒子加速機構の 研究	5. 5. 31
理学部	教授	笹山 雄一	カリフォルニア大学バークレイ校癌研究所・ 統合生物学部門名誉教授・ハワード, バーン	魚類の血中ミネラル濃度	5. 9. 23
				の内分泌学的調節に關す る研究	5. 10. 14

## ○ 日米科学協力事業共同研究

部 局	職	氏 名	招へい研究者所属・職・氏名	研究課題名	招へい期間
工学部	教授	坂井 純一	アイオア大学物理天文学部・準研究科学者・ 西 河 謙 一	3次元電磁粒子コードによ	5. 4. 1
				る電流ループ合体の研究	7. 3. 31

## 平成5年度富山大学人文学部推薦入学選抜状況

平成5年度人文学部推薦入学願書の受付が、去る12月14日(月)～18日(金)の5日間行われました。

その志願者の状況は、次のとおりです。また、この推薦入学志願者の選抜は、平成5年1月20日(水)に実施され、2月5日(金)に合格者の発表が行われました。

学 部 ・ 学 科		募 集 人 員	志 願 者 数	昨年度志願者数	合 格 者 数
人 文 学 部	人 文 学 科	名 15	50 名	35 名	8 名
	語 学 文 学 科		33	41	9
	計		83	76	17

## 平成5年度一般選抜追加学生募集要項（抜粋）

本学において学生募集を行っている学部・学科及び募集人員は、「平成5年度富山大学学生募集要項」に既に発表していますが、人文学部及び理学部では、平成5年度から以下のような学科改組あるいは入学定員の変更を計画しています。

- 1 人文学部では、平成5年度において人文学科及び語学文学科を人文学科、国際文化学科及び言語文化学科の3学科に改組します。
- 2 理学部では「平成5年度富山大学学生募集要項」に各学科の募集人員について、既に発表していますが、化学科及び生物学科から各5名を減らした10名と新規増員20名により、募集人員30名の生物圏環境科学科を新設します。
- 3 この計画は、関係法令の制定及び平成5年度予算の成立によって確定するものですが、入学者選抜については、既設の学科の入学者の選抜として行いますので、注意してください。

### 1 募集人員

人文学部及び理学部の一部学科において、次のとおり募集人員を変更します。

なお、次表に示した学部・学科以外の募集人員は、既に発表した「平成5年度富山大学学生募集要項」のとおりです。

#### (1) 人文学部

既設の学科							改組後の学科	
学 科	入 学 定 員	変更前の募集人員		変更後の募集人員			学 科	入 学 定 員
		前期日程	後期日程	前期日程	後期日程	計		
人文学科	95	70	25	55	15	70	人文学科	70
				20	5	25	国際文化学科	40
語学文学科	110	80	30	10	5	15	言語文化学科	95
				70	25	95	計	205
計	205	150	55	155	50	205		

(注) 変更後の募集人員のうち、人文学科の下段及び語学文学科の上段は、新設予定の国際文化学科を志望する者の募集人員です。

#### (2) 理学部

既設の学科							改組後の学科	
学 科	入 学 定 員	変更前の募集人員		変更後の募集人員			学 科	入 学 定 員
		前期日程	後期日程	前期日程	後期日程	計		
数 学 科	53	46	7	46	7	53	数 学 科	53
物 理 学 科	47	37	10	37	10	47	物 理 学 科	47
化 学 科	43	33	10	30	8	38	化 学 科	38
				12	3	15	生物圏環境科学科	30
生 物 学 科	45	35	10	12	3	15	生 物 学 科	40
				32	8	40	地 球 学 科	32
地 球 学 科	32	27	5	27	5	32	計	240
計	220	178	42	196	44	240		

(注1) 変更後の募集人員のうち、化学科の下段及び生物学科の上段は、新設予定の生物圏環境科学科を志望する者の募集人員です。

- 2 生物圏環境科学科は、化学科及び生物学科から各5名のほか、新規に20名を増員して30名の学科として新設する予定です。

### 2 入学者選抜方法

人文学部及び理学部の学科改組等の計画は、関係法令の制定及び平成5年度予算の成立によってはじめて確定するものですが、この結果によって生じる入学者選抜は、改めて行いません。

したがって、改組等が確定するまでは、それぞれ既設の学科の入学者選抜として行います。

### 3 合格者発表

- (1) 合格者の発表は、既設の学科の合格者として行い、改組が確定した場合に入学することになる新設予定学科名も併せて発表します。
- (2) 万一、関係法令の制定及び予算の成立がない場合には、既設の学科の学生として入学することになります。



▲ 平成5年度政府予算案内示で本学の4年一貫教育が実現する運びとなった五福キャンパスの全景

## ○人文学部学科の概要（平成5年度追加学生募集要項に掲載の全文）

### 1 目的

人文学部は、人間を学問の基礎を据えて、人類が築き上げてきた文化を研究する学部です。高度の科学技術の発展により国際化・情報化の時代を迎えた今日、人文学部では、日本・東洋及び西洋の思想・言語・歴史といった文化現象を明らかにすることによって、人類に課せられた諸問題を処理する能力を身につけ、真の国際文化交流を図ることができる人材の育成を目的にしています。

### 2 学科案内

#### (1) 人文学科

##### 人間基礎論講座

人間存在の基層を西洋哲学、東洋思想、倫理思想等の視点から、総合的、学際的に教育研究します。

##### 歴史文化講座

日本史学、東洋史学、西洋史学における地域研究を踏まえて、世界史的視野に立つ歴史観を追求します。一方、古文書・美術考古資料等の視覚的な史料を扱う文書館学、博物館学の修得を目指します。

##### 行動文化講座

言語学、文化構造論、心理学、社会学を専門的に学ぶとともに、社会における人間行動の理論的・実証的追求及び文化の構造的理解の養成を目的とします。

#### (2) 国際文化学科

##### 環境地域論講座

文化人類学、人文地理学、考古学、比較社会論を核として、地方と都市の抱える諸問題、世界的な環境問題、民族問題、諸地域の歴史・社会・文化を実際的に検証し、問題の処理能力を養います。

#### 国際文化関係論講座

21世紀に向けた国際文化交流・関係の在り方を追求します。文学の国際交流を扱う比較文学、また日本対中国・ロシアの環日本海文化関係を学際的に研究します。

### (3) 言語文化学科

#### 日本・東洋言語文化講座

日本、朝鮮、中国の各言語文化の特性を個別に専門的に研究するとともに、相互の受容と影響を視野に含めて、東アジア言語文化の総合的理解を図ります。

#### 英米言語文化講座

国際語としての英語の運用能力の向上を図るとともに、ヨーロッパの諸言語文化も含め、イギリス及びアメリカの言語文化を専門的に研究します。

#### ヨーロッパ言語文化講座

ドイツ、フランス、ロシアの各言語文化を個別に専門的に研究するとともに、各言語の運用能力を高め、英米言語文化も含め、相互の比較を通じて、ヨーロッパ言語文化の理解を図ります。

## 3 教育方針と卒業後の進路

### (1) 人文学科

人類の文化を思想、歴史、言語、社会、心理等の側面から研究、調査し、柔軟な思考力、実証的な精神、豊かな感性を備えた人材を育成することを目的とします。卒業後は、主として大学院、教員、社会福祉関係、情報産業、官公庁、あるいは美術館、博物館等の学芸員として進むことができます。

### (2) 国際文化学科

新設の学科であるが、地域研究、世界環境問題、都市研究、マイノリティ問題、文化遺産問題に取り組むとともに、欧米及び環日本海の国際文化交流を図って、相互の文化理解に役立つような人材の養成を目的とします。卒業後は、主として大学院、公務員、環境問題、地方・都市問題、遺跡・文化財の調査保護等に携わる業務、美術館、博物館等の学芸員あるいは国際関係部門の業務、外国駐在員等幅広い分野での活躍が期待されます。

### (3) 言語文化学科

日本、朝鮮、中国、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシアの各言語文化に対する十分な理解と洞察力を持ち、各言語の運用能力と広い視野を持った人材を養成することを目的とします。卒業後は、主として大学院、教員、公務員、マスコミ、出版社、情報産業等に進み、国際部門で活躍することが期待されます。

## ○理学部学科の概要（平成5年度追加学生募集要項に掲載の全文）

### 1 目的

理学部は、自然界を律する基本的な原理や法則あるいは数理を究める学問を教育する学部です。

理学は、自然のロマンに富んだ壮大な姿と営みを照らし出し、人類の文化を豊かにします。また、さまざまな実用科学や先端技術開発のますます重要な基礎として、社会に貢献しています。

富山大学理学部では、学生がしっかりした基礎を築き、広い視野を身につけ、自分の力で課題を掘り起こし解決していく能力を高めることに力を注いでいます。



## 2 学科案内

### (1) 数学科

#### 数理解析講座

現代数学は、ニューサイエンスとの関係などで見られるように現代文化の中核としての重要性を増しています。本講座は、専門的研究の他、学生に対し数学の体系的学習と研究活動を指導します。

#### 情報数理講座

現代社会を支えている情報科学の数理的な基礎が必要とされています。本講座は専門的研究の他、数学の知識に裏付けられたアクティブな情報科学者及び情報技術者の育成、支援を行います。

### (2) 物理学科

#### 物性物理学講座

磁性、金属、超伝導などの多様な性質をもつ固体、見事で複雑な対称性を持つ結晶を現代物理学によりミクロに解明し、その原子構造を研究しています。

技術革新のための基礎分野でもあります。

#### 量子物理学講座

素粒子の模型と力学、宇宙の生成・発展等に関する理論的研究を行い、また、電波やレーザーで原子や分子の構造と運動を実験的に研究しています。電波・赤外天文学と強く関連した分野でもあります。

### (3) 化学科

#### 反応物性化学講座

化学反応における物質の変化と、その反応課程と速度について明らかにしています。また、物質は光を授受するが、それを詳しく調べ、物質の個性や運動性を明らかにしています。

#### 合成有機化学講座

非線形光学応答化合物や生物活性化合物等、人間の生活に役立つ、多くの新しい性質をもつ有機化合物の設計と、それらの化合物を効率よく得るための方法の開発を行っています。

### (4) 生物学科

#### 生体構造学講座

動物と植物について内部及び外部形態を調べることによって、種のレベルでの構造と進化を研究しています。一方、棘皮動物の発生を電子顕微鏡等を用いて微細構造学的に進化の観点から研究しています。

#### 生体制御学講座

シダ植物及び高等植物の発生や分化がどのように制御されているかを細胞や遺伝子のレベルで調べています。一方、種々の無脊椎及び脊椎動物を用いて生体におけるホルモンの制御の進化を研究しています。

### (5) 地球科学科

#### 地球圏物理学講座

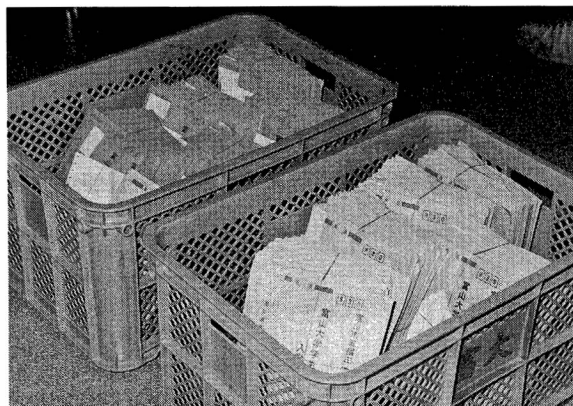
地球内部の中心から地球磁気圏にまでわたる地球圏に起きるいろいろな現象を、雪氷学、地震学、地球電磁気学など物理学的手法によって調べ、その原因や相互の関係を解明します。

#### 地球進化学講座

地球の変動帯の地質を明らかにし、その進化を解明し、原因を探求します。この目的のためには手段を選ばないので、化学的・物理学的・生物学的等、ありとあらゆる手法が駆使されます。

### (6) 生物圏環境科学科

#### 環境化学計測講座



▲願書の受付が締め切られた平成5年2月2日(火)の午前に郵送された本学あて入学願書

環境を構成している物質の性質と動きを知るのに必要な化学分析・アイソトープ分析の技術の向上と、環境の理解・保全に役立てるために必要な化学及び環境に関する知識の蓄積を目指しています。

#### 生物圏機能講座

生物を構成している分子の性質・それらの間の相互作用・細胞の機能と構造・細胞間の相互作用を理解し、生体内及び環境との間で物質・エネルギー・情報がどのように循環しているかを学びます。

### 3 教育方針と卒業後の進路

#### (1) 数学科

今日、高度情報化・技術革新の時代を迎え、数理的基礎がますます重要となっています。その役割を認識しつつ科学技術の急速な進展に対応し得る、数学的な基礎学力と応用力とを備えた人材育成を目指しています。卒業後の進路は、教員、大学院、最近では情報産業、各種製造業等にと幅広い。

#### (2) 物理学科

物質の示す多彩な性質を電子レベルで理解し、技術革新を担う新物質の基礎を理解させ、物質の究極的な構成と宇宙の起源を解明するための現代物理学の手法を学習させます。卒業後は、諸先端技術関連の企業研究所、大学院進学、教員等広い選択があります。

#### (3) 化学科

化学科では化学に関する高度な知識と技術を修得するとともに、探究心及び独創性を養うことによって、高度産業社会に対応できる優れた能力を収めた人材を育成することを目指しています。卒業後は、大学院、化学工業及び製薬企業の研究室、情報処理産業、教員等へ進む者が多い。

#### (4) 生物学科

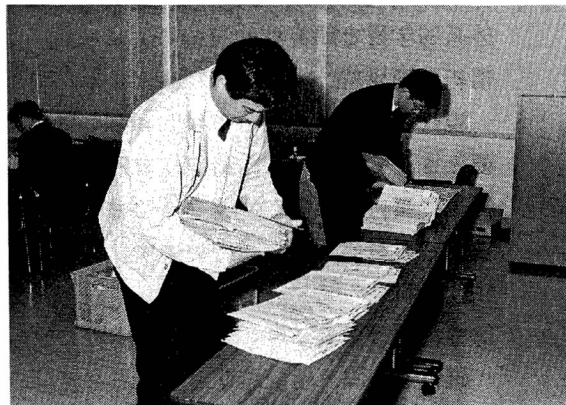
生物の個体及び種のレベルでの構造を学び、それが遺伝情報の発現や制御によって形成されることを理解させます。その過程で、最新のバイオテクノロジーの知識や基礎技術の一部を習得させます。卒業後は、大学院への進学、企業の研究所、教員、環境整備会社、病理検査の会社等へ進む者が多い。

#### (5) 地球科学科

地球で起きるいろいろな現象を学び、それらが複雑な相互関係をもっていることを理解させます。地球現象を総合的に把握できる幅広い視野と能力を習得させます。卒業後は、大学院への進学、公務員、教員のほか、地球科学関連の企業、団体への就職が多い。情報産業への進路をとる者もいます。

#### (6) 生物圏環境科学科

環境は生物と周りの物質との相互作用によって保たれています。その仕組みを理解するのに必要な化学・生物・環境に関する知識と技術を備えた人材を育てます。卒業後の進路は、環境アセスメント関連の企業・官公庁及び各種企業の環境研究部門の施策者・技術者、教員そして大学院への進学があります。



▲ 郵送された願書を振り分ける入試課職員  
(於：黒田講堂会議室)



▲ 大量の入学願書を確認し受け付ける経済学部職員 (於：黒田講堂会議室)

# 平成5年度富山大学一般選抜入学志願者確定数

(平成5年2月2日 確定)

学部	学科・課程	平成5年度											平成4年度						
		前期日程			A日程			後期日程			全日程		確定志願倍率						
		募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	前期日程 (倍)	A日程 (倍)	後期日程 (倍)	B日程 (倍)	全日程 (倍)	
人文学部	人文学科	68	354	5.2	—	—	—	20	222	11.1	88	576	6.5	4.3	—	7.3	—	5.1	
	語学文科学科	72	415	5.8	—	—	—	30	275	9.2	102	690	6.8	4.9	—	6.9	—	5.4	
	学部計	140	769	5.5	—	—	—	50	497	9.9	190	1,266	6.7	4.6	—	7.1	—	5.3	
教育学部	小学校教員養成課程	70	191	2.7	—	—	—	30	293	9.8	100	484	4.8	2.6	—	7.7	—	4.2	
	中学校教員養成課程	—	—	—	44	222	5.0	—	—	—	44	222	5.0	—	3.9	—	—	3.9	
	養護学校教員養成課程	14	48	3.4	—	—	—	6	89	14.8	20	137	6.9	6.1	—	7.8	—	6.6	
	幼稚園教員養成課程	21	95	4.5	—	—	—	9	183	20.3	30	278	9.3	4.8	—	12.1	—	7.0	
	情報教育課程	20	26	1.3	—	—	—	10	81	8.1	30	107	3.6	3.2	—	5.4	—	3.9	
	学部計	125	360	2.9	44	222	5.0	55	646	11.7	224	1,228	5.5	3.5	3.9	8.0	—	4.7	
経済学部	昼 コ   主 ス	経済学科	116	447	3.9	—	—	—	33	389	11.8	149	836	5.6	4.3	—	9.3	—	5.8
		経営学科	88	343	3.9	—	—	—	26	291	11.2	114	634	5.6	6.1	—	11.1	—	7.6
		経営法学科	71	484	6.8	—	—	—	21	254	12.1	92	738	8.0	9.0	—	9.9	—	9.3
		計	275	1,274	4.6	—	—	—	80	934	11.7	355	2,208	6.2	6.1	—	10.0	—	7.3
	夜 コ   主 ス	経済学科	2	12	6.0	—	—	—	4	41	10.3	6	53	8.8	—	—	—	9.5	9.5
		経営学科	2	16	8.0	—	—	—	5	71	14.2	7	87	12.4	—	—	—	7.9	7.9
		経営法学科	2	23	11.5	—	—	—	5	81	16.2	7	104	14.9	—	—	—	11.0	11.0
		計	6	51	8.5	—	—	—	14	193	13.8	20	244	12.2	—	—	—	9.5	9.5
	学部計	281	1,325	4.7	—	—	—	94	1,127	12.0	375	2,452	6.5	6.1	—	10.0	9.5	7.4	
	理学部	数学科	30	138	4.6	—	—	—	7	37	5.3	37	175	4.7	4.4	—	3.4	—	4.1
物理学科		37	135	3.6	—	—	—	10	64	6.4	47	199	4.2	2.9	—	3.3	—	3.0	
化学科		42	124	3.0	—	—	—	11	82	7.5	53	206	3.9	2.4	—	4.2	—	2.9	
生物学科		44	150	3.4	—	—	—	11	93	8.5	55	243	4.4	4.8	—	2.8	—	3.9	
地球科学科		27	106	3.9	—	—	—	5	91	18.2	32	197	6.2	4.1	—	3.2	—	4.0	
学部計		180	653	3.6	—	—	—	44	367	8.3	224	1,020	4.6	3.7	—	3.3	—	3.5	
工学部	電子情報工学科	87	388	4.5	—	—	—	27	144	5.3	114	532	4.7	5.1	—	3.7	—	4.6	
	機械システム工学科	67	270	4.0	—	—	—	21	157	7.5	88	427	4.9	5.8	—	3.8	—	5.1	
	物質工学科	54	349	6.5	—	—	—	17	221	13.0	71	570	8.0	4.5	—	3.0	—	3.9	
	化学生物工学科	56	234	4.2	—	—	—	18	186	10.3	74	420	5.7	7.0	—	6.0	—	6.7	
	学部計	264	1,241	4.7	—	—	—	83	708	8.5	347	1,949	5.6	5.6	—	4.1	—	5.0	
合計	990	4,348	4.4	44	222	5.0	326	3,345	10.3	1,360	7,915	5.8	4.9	3.9	6.5	9.5	5.4		

(注) 理学部化学科及び生物学科の募集人員には、それぞれ10人の増員を含む。

なお、この表には、推薦入学及び社会人特別選抜の志願者数が含まれていない。



平成5年度富山大学私費外国人留学生入学志願者数

(平成5年2月2日)

学 部	学科(課程)	マレーシア	中国	台湾	韓国	香港	ベトナム	タイ	インドネシア	マダガスカル	計
人文学部	人文学科	2	2	5							9
	語学文学科		1	1							2
	計	2	3	6							11
教育学部	小学校教員養成課程										
	中学校教員養成課程	1									1
	養護学校教員養成課程										
	幼稚園教員養成課程										
	情報教育課程	1									1
	計	2									2
経済学部 (昼間主コース)	経済学科	13	1	3	2						19
	経営学科	33	6	7				1	1		48
	経営法学科	1	1								2
	計	47	8	10	2			1	1		69
理学部	数学科										
	物理学科										
	化学科										
	生物学科										
	地球科学科										
	計										
工学部	電子情報工学科	5	2		2	1	1	1			12
	機械システム工学科	11		2							13
	物質工学科	2	2								4
	化学生物工学科			1							1
	計	18	4	3	2	1	1	1			30
合 計	69	15	19	4	1	1	1	1	1	112	

参 考

平成4年度富山大学私費外国人留学生入学志願者数

学 部	学科(課程)	マレーシア	台湾	中国	韓国	香港	ベトナム	合計
人文学部	人文学科			2				2
	語学文学科		2					2
	計		2	2				4
教育学部	小学校教員養成課程							
	中学校教員養成課程							
	養護学校教員養成課程					1		1
	幼稚園教員養成課程							
	情報教育課程							
	計					1		1
経済学部 昼間主 コース	経済学科	17	2	4				23
	経営学科	23	17	7		1		48
	経営法学科			1				1
	計	40	19	12		1		72
理学部	数学科							
	物理学科							
	化学科							
	生物学科							
	地球科学科							
	計							
工学部	電子情報工学科	5	1	3	2		2	13
	機械システム工学科	10		2	1			13
	物質工学科	1			1			2
	化学生物工学科							
	計	16	1	5	4		2	28
合 計	56	22	19	4	2	2	105	



## 寄稿 海外レポート①

## モスクワ雑感

人文学部語学文学科 教授 矢澤 英一

モスクワの都心から北へ地下鉄に乗って20分も行ったところにヴェ・デ・エヌ・ハ（国民経済成果博覧会）という駅がある。駅を出れば、そこはもうヴェ・デ・エヌ・ハ、つまり旧ソヴィエトの国民経済の成果を示す常設の大博覧会場の入口である。入口に向かって左側に銀色に輝く宇宙開発オベリスクがそびえ、右側にはハンマーと鋏を高く掲げたたくましい青年男女の像がある。しかし、ソヴィエトが消滅し、混乱を極める経済状況下のいま、市民の休息のための公園でもあるこの博覧会場に足を運ぶ人は少ない。

もっとも、駅の周辺は人で賑わっている。どこの駅もそうであるように、ルイノック（市場）の列が大通りへの通路に沿って幾重にも延びているからだ。ここには野菜、果物、肉、ピローシキ（揚げパン）、ウオッカ、靴、衣料品など何でも売っている。国営店にないものもここに来れば手に入る。ただし、値段は国営店よりずっと高い。値札を見て立つ去って行く人が多い。値段をめぐってだろう、売り手と買い手が大声でやり合っているのも見かける。浅黒い顔の売り手たちは男も女もみなしたたかな感じだ。

地下鉄の出口からルイノックまでの通路の両側にも人の列が連なっている。ルイノックの売り手たちとは明らかに感じの違う人々、つまり一般市民が思い思いの品、たとえばコーヒーカップ、靴、セーター、帽子などを手にのせて立ち、買い手を待っているのだ。その多くは女性、それも年老いた人々である。国営店で買った砂糖やチーズやタバコを販売して生活費を稼いでいる年金生活者も多いという。

こうした人混みを抜けて大通りに出、市電に乗り、15、6分もすると木立の中に白っぽい壮大な建物が見えてくる。正面に円柱が立ち並び、その上にクーポル（円屋根）が載っているロシア独特の均整のとれた、どっしりした感じの建物である。そばにねぎ坊主がいくつも重なり合った教会もある。これはオスタンキノと呼ばれるこのあたり一帯のかつての領主シェレメーチェフ伯爵家の18世紀末に建てられた別荘で、いまは

博物館になっている。この建物のユニークなところは設計も建築もすべて同家の農奴たちの手でなされたことである。建物の内部も豪華で、どの部屋の天井も家具も繊細で優美な装飾が施され、床はそれぞれ色彩の異なる木材が使われている。館内には絵画、彫刻、磁器、立像などが展示されている。しかし、なにより注目を引くのは館内の劇場である。観客席の椅子をわずかな時間で移動させて、劇場を舞踏用のホールにできるように床面には特別な仕掛けがしてある。照明や音響効果の設備も時代の先端をいくものであったという。ここでは毎晩のように絢爛豪華なおペラやバレエが上演された。そして、演ずるのはこの家の農奴であった。ニコライ・シェレメーチェフ伯爵は自ら農奴の俳優や歌手、舞踏家を養成した。そればかりか農奴の歌手を妻にした。劇場の一隅に農奴の画家の筆になる彼女の肖像画が掛かっている。



▲オスタンキノの農奴芸術博物館(旧シェレメーチェフ邸)

18世紀後半、ロシアでは農奴が俳優として用いられる地主の私的な劇場が広く普及した。「黄金の時代」と呼ばれたエカチェリーナ二世のこの時代は、ロシア貴族階級の政治、経済、文化の最盛期で、義務的な官職から開放され、農奴への無限の支配力を持った地主たちは、競って華美、豪華、娯楽なものへの己の志向を満足させていった。壮大な邸宅を建て、美術品を収集し、自分の周りに農奴の音楽家、画家、建築家、詩

人などを置いた。地主屋敷で催される祝宴は、その途方もない華麗さと豊かさで内外の客を驚かせたという。農奴劇場は、貴族にとって生活を飾るための、あるいは純粋に己の美学的欲求を満たすための格好の手段となった。もっとも、一口に農奴劇場といっても、シェレメーチェフ家のように固有の劇場や劇団、レパートリーをもったプロ並の劇場から、主人の誕生日や祝い日のために俄に仕込まれた召使たちが演ずるものまでさまざまだった。しかし、いずれの場合も演ずる農奴たちの運命がすべて主人の手に握られていたことには変わりはない。彼らの悲劇的な運命はレスコフやゲルツェンの小説などに見ることができる。

私の今回のモスクワ滞在の目的は、ロシアの演劇史上特異な位置を占めるこの農奴劇場を調べることだった。昨年秋に滞在したときと同じように、レーニン図書館で関係資料を渉猟し、必要なものを複写することが主な日課となった。薄暗い、人のまばらな第一閲覧室で一日の大半を過ごした。第一閲覧室は教授や博士用の特別閲覧室だが、外国人なら誰でも利用できる。ここの利用者は図書の貸出などすべての点で特権的な待遇を受ける。短期間滞在する身には大変な難いのだが、ただ、コピー申込みの長い行列の先頭に割り込める「特権」だけは享受する気になれなかった。しかし、そうなると行列が当たり前のこの国のこと、1時間以上並ぶことも覚悟しなければならない。時計を見ながら苛々したことが何度あったことか。時間がくると（あるいはなぜか時間前に）窓口がぴしゃり閉まってしまうのだ。一度閉まった窓は絶対に開かない。

ところが、驚いたことに、今回は行列はまったくなかった。いつ行ってもすぐに申し込み、出来上るのも早い。理由は簡単、コピー代が上がったからだ。10月上旬は、1930年以前の発行物が1枚6ルーブル、以後のものが2ルーブルだったのが、1ヶ月後にはそれぞれ25ルーブル、8ルーブルになった。ロシア人の平均月収が5000ルーブルであることを考えれば、窓口が閑散となるのは当然である。

白樺林が金色に染まる「黄金の秋」が過ぎると、冬が一足飛びにやってくる。みぞれ混じりの雨が吹きつけるぬかるみの季節の到来である。秋から冬へのそのわずかな間隙をぬうように、たまさか穏やかな、晴れた日が訪れると、矢も楯もたまらず、ロシアの森へ行ってみたいくなる。大都市モスクワも都心から少し離れれば森は至るところにある。ここがモスクワのよいとこ



▲ オスタンキノの農奴芸術博物館の隣の教会、これも18世紀のロシア建築

ろ。そんなとき、私はしばしばオスタンキノへ出かけた。博物館は、昨年同様、修理中ということで入れない。昨年は落胆し、諦めて帰ろうとしたら、隣の教会で博物館のパンフレットを売っていた老婆から、せっかく日本からやって来たのだから館長に頼み込めと言われた。旧ソヴィエト（あのときはまだ旧ではなかった）での「交渉」の煩わしさは多少は知っていたので勇を鼓して入って行ったが、意外にもあっさり見学を許され、しかも、職員が丁寧に案内してくれた。部屋部屋を歩きながら、ピョートル大帝時代からロシア有数の富豪だったシェレメーチェフ家の歴史、農奴劇場の成り立ち、劇場兼ホールの床面の仕掛け、舞台の構造などについてたっぷり時間をかけて話してくれたのである。写真も自由にとらせてくれた。それゆえ、今回は外側から眺めるだけでいい。周囲の森を歩くだけでいい。ルイノックで買ったピローシキをほおぼりながら、人影のまばらな晩秋の森を歩くのは気分がよかった。

モスクワから帰って2ヶ月になる。ロシアに経済好転の兆はない。すでに前年、オスタンキノの館内を案内してくれた例の職員は、修理中といっても国家財政の悪化で、実際には修理はなされていない、したがって開館がいつになるかまったくメドが立っていないと言っていた。いたるところで人員整理が行われているという現在、あの職員——初老の女性はまだあそこで働いているのだろうか。そんなことを考えていると、なぜかモスクワの夕暮れの雑踏が、重そうな買物袋を両手に下げて家路を急ぐ人々、街頭に立って物を売る人々、バスや市電に群がる人々などの情景が脈絡なく思い出されてくるのである。 (1993・1・28)



## 寄稿 海外レポート②

## ブルーミントンの思い出

理学部数学科 教授 鈴木 正昭

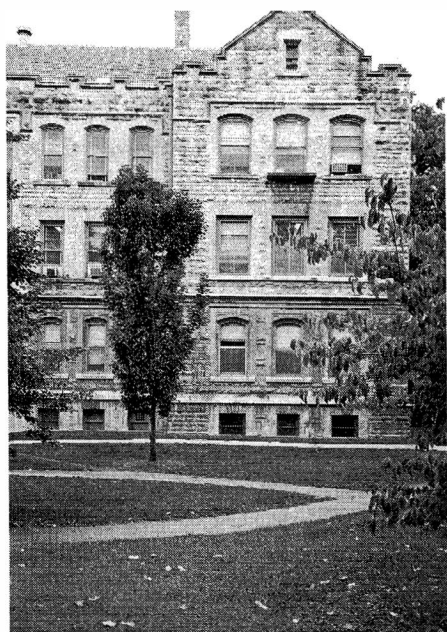
平成4年度文部省短期在外研究員としてアメリカのインディアナ大学に9月、10月と2カ月間滞在した。これは私の最初の海外旅行であり、かつ外国での生活であった。従ってすべてがもの珍しく、失敗も多かった。9月1日正午に成田空港をたった私は同じく9月1日の朝9時にはシカゴのオヘア空港に着いたが、インディアナ大学のあるブルーミントンへはミッドウェー空港から飛ぶことになっていた。苦労してやっと、その空港にたどり着き、やっとチケットを手に入れたが、その時感じたのはアメリカ人というのは親切だということでこれは終わりまで続いた。ミッドウェー空港からの飛行機はビーチクラフトという20人乗り位の双発機でパイロットは陽気なビール腹の米人であったが、乗客は尼さんを含め4人位であった。ジェット機と違って低い高度を飛ぶので眼下には一面に畑が広がりそれが何十分も続くのでアメリカの広大さと土地の豊かさを実感した。着陸した所は、原っぱの中に滑走路が一本で待合室があるだけで、出迎えもなく、途方にくれていたら、くだんのパイロットがやってきて大学に電話をかけてくれたので助かった。やってきたベッドフォード教授に連れられて数学科のあるスェインホールへいろいろな手続きを済ませ、この時からインディアナ大学での生活が始まった。



▲ インディアナ大学の図書館

インディアナ大学のキャンパスは広大でブルーミントンの町の大半を占めている感じだった。また、町の人口は約5万ということだったがそのうち3万5,6千は学生とのことであった。私は、大学の構内の北に位置するエバーマンアパートに入ったが、日本のように天井に蛍光灯がついていないので、2,3日は夜暗い中で過ごした。構内バスがカレッジモールという町のショッピングセンターへ通じていたので週に2,3回は、そこで買出しをして自炊することにした。実は、私はあまりパンが好きでなく、米の飯を喰わないとやっていけない古い人種である。そこで、スーパーマーケットで「ぼたん米」という米を仕入れ、毎朝厚手の鍋で炊いて食べた。飯の炊き方だけは日本で調べて行った。110Vのヒーターでおいしく炊け、私は密かに飯炊きの名人であると思った。おかずはスーパーで豆腐を見つけたのでインスタントみそ汁に入れて食べた。スーパーは品物の種類も多く、値段も日本より安いように思った。牛肉もやわらかくてうまかった。こちらにくる前は、テレビでロスの暴動のニュース等をみていたので、大分心配したのだが、未だ古き良きアメリカがこのような田舎では残っているように感じた。治安の面でも心配はなかった。夜遅く女子学生達がジョキングをしていた。

さて私は、スェインホールの半地下にあるピジター用の部屋に机を1つもらった。そして、ベッドフォード教授が主催するセミナーへのみ出席することにした。私は、多変数の複素力学系を研究するためにここを選んだのだった。ベッドフォード教授はこの方面の大家である。彼自身多項式写像の力学系について3回にわたって話した。また彼は、非常に親切でユーモアのある人である。ただ、彼があまり流暢に英語を話すので、私には聞きとれないことが多かったのは残念であった。だいたいメモを交換して何とかしのいだ。10月始めには、隣のミシガン大学からフォルネス教授がやって来て、射影空間での力学系について話した。また、



◀ (この半地下階にビジター用の部屋があった。  
スエインホール・イースト)

有名なロシアの数学者、S. ピンチャクが客員教授として1学期の予定で教えていた。彼は、アコピの予想について3回位話した。現在、アメリカの各大学には、ロシアの数学者がかなりいるらしい。ミシガン大学にいるポレッキーもそうだ。集合論で「ツォルンの補題」という有名な命題があるが、そのツォルンはこの大学の名誉教授であり、80才を過ぎていると見えたが研究室を持っていて毎日でてきていた。また、代数学の東屋五郎先生もこの名誉教授である。帰国する直前、先生のお宅に招待されたが、先生のお宅は町の北部の高級住宅地にあった。広い庭があり芝生の手入れが大変だと言っておられたが、そこに奥様と2人きりで住んでおられた。そこで夕食にちらし寿司を食べたのだが、これには、まぐろ、しめさば等がのっていて、非常にうまかった。アメリカで生の魚を食べたのはこの時だけだった。奥様はインディアナポリスの魚屋で買ったと言っていた。私は、お礼に折り紙を教えたが、奥様ももちろん、日本人であり折り紙は知っているのだが、大部分忘れたと言われたからである。老先生は、故 高木貞治先生の仕事をここ20年間研究しているが、くめどもつきないといわれた。楽しく忘れ難い一夜であった。

さて、インディアナ大学には8つのキャンパスがあって、学生数の総数は9万2千だそうだがその中では、このブルーミントンのキャンパスが一番大きい。私が着いた9月初めは、まだずいぶんむし暑かったが、中旬に入ると朝夕涼しくなり、それとともに紅葉がきれ

いになった。構内の樹や街路樹は、ほとんどかえでもみじの類であるから秋の深まりとともに、それらは赤、黄色と色どりを深めていった。10月の初め朝起きると庭は薄く雪が積もっていた。陽が昇るとともに消えてしまったが、それ以降寒さを感じるようになった。しかし、学生達はまだ半ズボンやショートパンツ姿で元気に動きまわっていた。男子学生達が良くやる運動というのは、テニスやフットボールのボール投げのようで、フットボールは観るスポーツとして特に人気があったようだ。ミシガン湖を囲むいくつかの州で強い大学チームが集まって「ピック10」というリーグを作っている。この中では、ミシガン大学がずば抜けて強いようだ。ミシガン大学との試合があったある土曜日、街は車で埋まり、5万人の観客でメモリアムスタジアムは一杯で、ダフ屋も現われた。チケットは20ドルだから、これは安くはないと思う。これは大学の収入になるのかと思った。しかし、インディアナ大学は実にあっさりと負けてしまった。しかし、ウィスコンシン大学等には勝ったこともある。テレビでフットボールの試合を見ていると、だんだんこれがおもしろくなってきた。アメリカは、広いからテレビでは1日中試合を実況中継している。ドラマを見ても英語がわからないのでおもしろくない。従って、スポーツ番組しか見ないということになる。アメリカのテレビのニュースに日本がでてくることはほとんどないが、コマーシャルには日本企業の名がよくでてきた。この辺りの街の人達は余り日本を知らないだろうと思う。また、テレビ等でアメリカは良く知っていると思う日本人も、やはりカメラを通して見たアメリカしか知らないのだろうし、しばしばそれは偏ったものになるのだろう。私が体験したブルーミントンでの生活からは、アメリカには日本にない豊かさがまだ残っていると感じたが、それもアメリカの一断面でしかないのだろう。なんだか散漫な文章になったのでここで止めることにしよう。

(注)

人文学部教授 矢澤英一氏は、去る10月2日から11月28日まで日本学術振興会特定国派遣研究者として、ロシアへ外国出張されました。また、理学部教授 鈴木正昭氏は、去る9月1日から10月31日まで文部省短期在外研究員として、アメリカ合衆国へ外国出張されました。

# 諸 会 議

## 第6回付属図書館商議会（12月3日）

（審議事項）

- (1) ビデオ・ライブラリーシステムによる図書館情報サービスの拡充について
- (2) その他

## 平成4年度第2回教育改革整備委員会（12月7日）

（議 題）

- (1) 専門委員会の進捗状況について
- (2) その他

## 平成4年度第9回事務協議会（12月10日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について

## 平成4年度第6回補導協議会（12月10日）

（審議事項）

- (1) 第45回北陸地区国立大学体育大会について
- (2) 学生守則について
- (3) その他

## 平成4年度第5回情報処理センター運営委員会

（12月10日）

（議 題）

- (1) 副センター長の推薦について
- (2) 自己点検評価委員会委員の委嘱について
- (3) 営繕要求について
- (4) 一般整備等の要求について
- (5) その他

## 平成4年度第6回新教育課程実施委員会（12月11日）

（議 題）

- (1) 新教育課程の編成について
- (2) その他

## 平成4年度第4回学園ニュース編集委員会（12月14日）

（審議事項）

- (1) 第79号学園ニュースの編集について
- (2) 第80号学園ニュースの発行について
- (3) その他

## 平成4年度第11回評議会（12月18日）

（審議事項）

- (1) 富山大学側の一部改正について
- (2) 富山大学自己点検評価規則の一部改正について
- (3) 留学生指導相談室の設置について
- (4) その他

## 平成4年度第7回新教育課程実施委員会（12月21日）

（議 題）

- (1) 新教育課程の編成について
- (2) その他

## 平成4年度第5回事務組織等検討委員会（12月25日）

（議 題）

- (1) 大学教育改善にかかる事務組織等について
- (2) その他



# 学 内 規 則

## 富山大学学則の一部改正

### 富山大学学則の改正理由

平成4年11月2日付け文高学第109号・文部事務次官通達に基づき、研究生、聴講生に係る授業料を改訂するため、所要事項を改める。

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成4年12月18日

富山大学長 小黒 千足

### 富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和59年3月12日制定）の一部を次のように改正する。

別表第4中「20,900円」を「22,900円」に、「10,500円」を「11,500円」に改める。

### 附 則

この学則は、平成4年12月18日から施行し、平成4年11月2日から適用する。ただし、平成4年11月2日以後における平成4年度の入学者に係る授業料の額は、従前のおりとする。

## 富山大学自己点検評価規則の一部改正

### 富山大学自己点検評価規則の改正理由

全学委員会の点検評価事項に本学の教育理念・目標のほか、本学の研究の理念と目標を加えるため、所要事項を改める。

富山大学自己点検評価規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成4年12月18日

富山大学長 小黒 千足

### 富山大学自己点検評価規則の一部を改正する規則

富山大学自己点検評価規則（平成4年9月11日制定）の一部を次のように改正する。

第9条第1項第1号中「本学の教育理念・目標等に関すること。」を「本学の教育・研究の理念と目標に関すること。」に改める。

### 附 則

この規則は、平成4年12月18日から施行する。

## 富山大学新教育課程実施委員会内規の一部改正

富山大学新教育課程実施委員会内規の改正理由

分科会の名称変更及び専門基礎科目部会の設置により、所要事項の整備を行う。

(改正年月日) 平成4年12月18日

(注) アンダーライン部分が今回の改正部分です。なお、一部改正に伴う新旧対象表は、本年1月発行の号外を参照してください。

## 富山大学新教育課程実施委員会内規

(全学共通の科目)

第1条 全学に共通する科目に係る授業科目等について企画・編成するため、富山大学新教育課程実施委員会規則(以下「規則」という。)第8条の規定に基づき、次の部会を置く。

- (1) 人文科学系部会
- (2) 社会科学系部会
- (3) 自然科学系部会
- (4) 外国語系部会
- (5) 保健体育系部会
- (6) 情報処理教育部会
- (7) 言語表現教育部会
- (8) 総合科目部会

2 部会は、当該分野に係る次の事項を担当する。

- (1) 主題、開講授業科目及び授業時数の設定
- (2) 授業担当教官(学外非常勤講師を含む。)の選任
- (3) 講義要録のとりまとめ
- (4) 授業時間割表の作成
- (5) その他の教育課程に関する事項

3 部会に部会長を置き、部会長は部会に係る事項を総括する。

第2条 部会に専門的事項を担当するため、次の分科会を置く。

- (1) 人文科学系部会
  - ア 思想と倫理分科会
  - イ 心理と教育分科会
  - ウ 歴史の世界分科会
  - エ 文学の世界分科会
  - オ 言語と文化分科会

カ 芸術の世界分科会

(2) 社会科学系部会

ア 社会理論と現代分科会

イ 法と政治分科会

ウ 産業と経済分科会

エ 地域と生活分科会

(3) 自然科学系部会

ア 地球と環境分科会

イ 生命の世界分科会

ウ 自然の構造分科会

エ 数理の世界分科会

オ 技術の世界分科会

カ 生活の科学分科会

キ 情報の科学分科会

(4) 外国語系部会

ア 外国語第1分科会

イ 外国語第2分科会

(5) 保健体育系部会

健康・スポーツ科学分科会

(6) 情報処理教育部会

情報処理分科会

(7) 言語表現教育部会

言語表現分科会

2 分科会に分科会長を置き、分科会長は当該分科会に係る事項を総括する。

3 分科会は、対応する富山大学教育課程編成方針Ⅲの6の(1)の授業主題の教科部から選出された委員各若干名をもって構成する。

第3条 部会は、当該部会に係る各分科会を代表する者若干名をもって構成する。ただし、総合科目部会は、各分科会(前条第1項第6号及び第7号を除く。)を代表する者各1名をもって構成する。

(専門基礎科目)

第4条 全学的な協力を必要とする専門基礎科目について調整するため、規則第8条の規定に基づき、次の部会を置く。

専門基礎科目部会

2 部会は、次の事項を担当する。

- (1) 開講授業科目及び授業時数の調整
- (2) 授業担当教官(学外非常勤講師を含む。)の推薦

3 部会に部会長を置き、部会長は部会に係る事項を総括する。

4 部会に専門的事項を担当するため、次の分科会を置く。

- (1) 数学分科会
- (2) 地球科学分科会

5 部会は、前項の分科会を代表する者若干名をもって構成する。

6 分科会に分科会長を置き、分科会長は当該分科会に係る事項を総括する。

7 分科会は、次の教官をもって構成する。

- (1) 数学分科会 数学系教官
- (2) 地球科学分科会 地球科学系教官

(連絡調整会議)

第5条 部会間における連絡調整が必要な場合は、関係部会間の連絡調整会議を設けることができる。

2 連絡調整会議に必要な事項は、当該部会間で定める。

附 則

この内規は、平成4年7月17日から施行する。

附 則

この内規は、平成4年12月18日から施行する。

3つのSをお約束します。



理容店



美容店



クリーニング店

ついたお店では、



厚生大臣認可  
標準営業約款マーク

このマークの

Sマークは、厚生大臣認可の標準営業約款制度に従って営業しているお店の表示です。このSマークを店頭に掲げているお店なら、全国どこでも約款に定められた基準以上のサービスが保証されています。

**Standard (標準)** 確かな技術。きめ細かな対応など、お客さまに提供するサービスの種別・内容を明確に表示。その実施をお約束します。

**Safety (安全)** まかせて安心。万一事故が発生した場合、事故賠償基準に基づき、お客さまには速やかに円滑な損害賠償がおこなわれます。

**Sanitation (衛生)** 美しく清潔に。厳しい管理基準に従い、営業施設の維持・管理をおこない、お客さまに気持ちよいサービスをお約束します。

標準営業約款制度についての詳しい内容などのご照会については、全国環境衛生営業指導センター(電話03-3351-2381)または富山県環境衛生営業指導センター(電話0764-42-0285)へお問い合わせください。

## 海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	教養部	教授	小林久壽雄	インド	研究集会「非線形拡散現象」 に出席し、講演を行う	4. 12. 4 } 5. 12. 3
海外研修	附属中学校	教諭	松田 真治	イタリア	イタリア美術(古代ローマから バロックまで)の視察・研究 のため	4. 12. 18 } 4. 12. 31
	教育学部	教授	遠藤 幸一	〃	〃	〃

## 職員消息

### 《住所変更》

工学部

助手 佐山 三千雄  
(生体分子化学)

### 《改 姓》

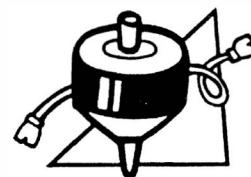
教養部

文部事務官 鳥海 衣美子(旧姓:関)  
(教務係)

教養部

文部事務官 谷口 和則  
(庶務係長)

文部事務官 鳥海 衣美子  
(教務係)



## 主 要 行 事

## 本 部

- 12月2日 放射線障害防止管理担当研修会（於：名古屋合同庁舎）  
推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜試験
- 2～10日 人事事務研修（於：国立オリンピック記念青少年総合センター）
- 3～4日 夜間教育実施国立大学事務局長会議（於：電気通信大学）
- 4日 富山地区人事担当課長会議（於：富山医科薬科大学）
- 5日 体育会総会（於：黒田講堂）
- 7日 第2回教育改革整備委員会  
第17回中部地区管理監督者研修（於：警察共済蟹江保養所及び名古屋合同庁舎）
- 8日 放射性同位元素総合実験室教育訓練  
第16回新教育課程実施委員会作業部会  
平成4年度厚生補導研究会  
（於：宇奈月温泉「黒部荘」）
- 9日 部課長会議  
在来生合宿研修 健康診断
- 10日 第9回事務協議会  
第6回補導協議会  
第4回教育改革整備委員会教育課程等移行専門委員会  
第17回新教育課程実施委員会作業部会  
第5回情報処理センター運営委員会
- 11日 外国人留学生との懇談会（於：高志会館）  
第6回新教育課程実施委員会  
推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜合格者発表
- 12日 邦楽部第19回定期演奏会（於：黒田講堂）
- 13日 合唱団第29回定期演奏会（於：黒田講堂）
- 14日 第5回教育改革整備委員会組織制度専門委員会  
第4回学園ニュース編集委員会
- 14～18日 人文学部推薦入学願書受付
- 15日 災害補償実施状況調査（於：富山医科薬科大学）  
北陸地区大学学生部懇話会（於：敦賀女子

短期大学）

第18回新教育課程実施委員会作業部会

16日 交通指導員による構内交通安全指導デー  
在来生合宿研修 オリエンテーション

17日 学務関係職員打合せ会

第5回教育改革整備委員会教育課程等移行専門委員会

18日 第11回評議会

第9回部局長懇談会

第3回会計係長会議

第19回北陸地区国立学校施設担当者連絡協議会（於：福井医科大学）

21日 低温液化室講演会

第7回新教育課程実施委員会

21～25日 平成4年度公開講座「テニス（初級）コース」

22日 第3回公開講座委員会

第6回教育改革整備委員会組織制度専門委員会

24日 低温液化室自己点検評価委員会

第19回新教育課程実施委員会作業部会

28日 仕事納めの学長挨拶

## 人 文 学 部

- 12月2日 社会人・帰国子女特別選抜試験
- 3日 紀要委員会
- 4日 学部教務委員会
- 8日 学部教育改革準備委員会
- 9日 教授会  
教授会（人事）
- 14～18日 推薦入学願書受付
- 16日 全学自己点検評価委員会委員（専門委員）  
と学部自己点検評価委員会との合同委員会
- 19日 学部教育改革準備委員会
- 21日 授業終了
- 24日 教授会



**教 育 学 部**

- 12月1日 学部補導委員会  
2日 推薦入学試験  
人事教授会  
3日 学部補導委員会  
4日 附属養護学校入学者選考  
7日 学部カリキュラム委員会  
附属養護学校合格者発表  
9日 学部教務・補導合同委員会  
学部教務委員会  
教授会  
附属幼稚園入園者発育検査（3歳児）  
10日 附属幼稚園入園者発育検査（4歳児）  
11日 推薦入試合格発表  
14日 附属幼稚園入園者第2次選考（抽選）  
16日 学部図書委員会  
学部カリキュラム委員会  
17日 学部職業補導委員会  
18日 教育実習運営協議会  
授業終了  
附属幼稚園第2学期終業式  
19日 附属中学校第2学期終業式  
20～22日 教育学部学生合宿研修（冬季）（於：熊の湯スキー場）  
22日 附属小学校第2学期終業式  
附属養護学校第2学期終業式  
24日 学部自己点検評価委員会  
人事教授会  
学部予算委員会

**経 済 学 部**

- 12月1日 係長会議  
2日 平成5年度推薦入学，帰国子女及び社会人特別選抜試験  
7日 推薦入学等選考委員会  
9日 学部教育改善検討委員会  
人事教授会  
教授会  
11日 係長会議

- 16日 学部自己点検評価委員会  
学部施設整備委員会  
18日 授業（第10週）終了  
（経済学部夜間主コース2年生を除く）  
21日 学部教育改善検討委員会  
学部教務委員会  
22日 大学院経済学研究科委員会小委員会  
大学院経済学研究科委員会  
人事教授会  
教授会  
学部留学生委員会  
25日 授業（第11週）終了  
（経済学部夜間主コース2年生）  
28日 係長会議

**理 学 部**

- 12月2日 推薦入学・社会人特別選抜試験  
8日 大学院構想推進委員会  
学科主任会議  
9日 教授会  
10日 学科主任会議  
15日 自己点検評価委員会  
学科主任会議  
22日 授業終了

**工 学 部**

- 12月2日 学部推薦入学試験  
3日 学部運営委員会  
7日 学部自己点検評価委員会  
9日 学部教務委員会  
教授会  
工学研究科委員会  
専任教授会  
11日 推薦入学合格発表  
係長連絡会  
15日 学部運営委員会  
16日 選考委員会  
25日 係長連絡会

## 教 養 部

16日 企業見学と産学交流会（於：富山化学工業  
（株）

- 12月2日 自己点検評価委員会  
将来計画委員会
- 7日 補導委員会
- 8日 教務委員会
- 9日 人事教授会  
教授会
- 11日 将来計画委員会  
自己点検評価委員会教育活動専門委員会
- 15日 教授会
- 16日 CL教室運営委員会  
視聴覚教育委員会  
自己点検評価委員会管理運営専門委員会
- 17日 将来計画委員会  
自己点検評価委員会研究活動等専門委員会  
予算委員会
- 25日 将来計画委員会

## 保健管理センター

12月2日 第2回健康の集い

## 附 属 図 書 館

- 12月2日 係長連絡会
- 3日 第6回附属図書館商議会  
第2回附属図書館自己点検評価委員会
- 15日 係長連絡会
- 28日 係長連絡会

## 水素同位体機能研究センター

- 12月8日 消火訓練
- 9日 教育訓練

## 地域共同研究センター

- 12月3日 京都工芸繊維大学関係者視察
- 8日 先端技術講演会
- 10日 企業見学と産学交流会（於：北陸電気工業  
（株）
- 14日 企業見学と産学交流会（於：㈱不二越）

編 集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190

印刷所 あけぼの企画株式会社  
富山市住吉町1丁目5-18  
電話 (24) 1755代